



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5603 URL http://www.kogi.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,810	11.7	325	△30.0	370	△22.6	171	△26.8
29年3月期第1四半期	4,305	△4.4	464	37.9	478	65.2	234	122.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 131百万円 (62.3%) 29年3月期第1四半期 80百万円 (△66.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	5.21	—
29年3月期第1四半期	7.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	26,059	11,478	35.7	281.82
29年3月期	23,970	11,545	39.3	285.24

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 9,305百万円 29年3月期 9,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円となり、1株当たり年間配当金は5円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,200	11.2	530	△38.8	480	△48.2	240	△49.5	7.27
通期	22,200	12.3	1,360	△21.3	1,210	△33.6	650	75.5	196.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であり、平成30年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	33,621,637株	29年3月期	33,621,637株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	600,145株	29年3月期	600,145株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	33,021,492株	29年3月期1Q	33,022,341株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（株式併合後の配当および連結業績予想について）

当社は、平成29年6月28日開催の第112回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施することとしております。併せて同日付で単元株式数の変更（1,000株から100株に変更）を実施する予定であります。なお、株式併合考慮前に換算した平成30年3月期の配当予想および連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年3月期の配当予想
1株当たり期末配当金 5円00銭（注1）
2. 平成30年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 第2四半期（累計）7円27銭 通期 19円68銭

（注1）株式併合考慮前に換算した配当額です。

（注2）平成30年3月期の年間配当金（株式併合考慮前）は5円00銭となります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調にあるものの、米国政策動向の影響などの不安要因もあり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで当社グループは、『1. 社会における「信頼」の創造』、『2. 社内における「相互信頼」の醸成と「自立人」の育成』、『3. 新たな領域への挑戦』を柱とする第5次3カ年計画（平成28年～平成30年度）を推進し、国内事業の基盤強化に努めてまいりました。また、海外事業においても、南通虹岡鑄鋼有限公司が、本年7月14日に開業式を行いました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高48億1千万円（前年同期比 11.7%増）となりました。しかし、主要原材料価格の高止まりなどもあり、全社を挙げてコスト削減に取り組みましたが、損益面では営業利益3億2千5百万円（前年同期比 30.0%減）、経常利益3億7千万円（前年同期比 22.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億7千1百万円（前年同期比 26.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鑄物関連事業

鑄物は、エネルギー関連の低迷で、鍛鋼、厚板用鑄型の需要は減少し、売上高は、前年同期を下回りました。ロールは、主要顧客先の国内電炉メーカーの需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。自動車用プレス金型鑄物は、国内カーメーカー向け需要が活況にあり、売上高は、前年同期を上回りました。大型産業機械用鑄物は、工作機械向けが低迷しており、売上高は、前年同期を下回りました。小型鑄物は、電線共同溝用鉄蓋が好調に推移しましたが、機械鑄物が低迷し、売上高は、前年同期並みで推移しました。デンスバーは、建設機械向け需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。中国国内で自動車用プレス金型鑄物の生産・販売を手がける天津虹岡鑄鋼有限公司は、引き続き好調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は、40億5百万円（前年同期比 5.6%増）、セグメント利益 3億3千8百万円（前年同期比 32.8%減）となりました。

② その他の事業

送風機は、民間設備投資に動きが始め、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスベクターは、製鉄関連向けが低迷しており、売上高は、前年同期を下回りました。環境装置事業は、大型案件の受注活動に努めたことにより、売上高は、前年同期を大きく上回りました。KCメタルファイバーおよびKCカーボンセラミックスも、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、8億4百万円（前年同期比 56.6%増）、セグメント利益 4千5百万円（前年同期比 75.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、148億5千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億6千7百万円増加いたしました。これは、主として現金及び預金が13億9千5百万円、電子記録債権が3億4千万円増加した一方、受取手形及び売掛金が9億6千8百万円減少したことなどによります。

固定資産は、112億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億2千1百万円増加いたしました。

この結果、総資産は、260億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億8千9百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、101億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億1千8百万円増加いたしました。これは、主として短期借入金が7億2千6百万円、支払手形及び買掛金が3億4百万円増加したことなどによります。

固定負債は、44億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億3千7百万円増加いたしました。これは、主として長期借入金が増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、145億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億5千5百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、114億7千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千6百万円減少いたしました。これは、主として為替換算調整勘定の減少等によりその他の包括利益累計額が8千6百万円減少したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.3%から35.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月9日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,967	4,363
受取手形及び売掛金	7,168	6,200
電子記録債権	777	1,117
商品及び製品	975	1,101
仕掛品	1,030	984
原材料及び貯蔵品	779	707
繰延税金資産	104	61
その他	290	326
貸倒引当金	△4	△5
流動資産合計	14,088	14,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,815	1,964
機械装置及び運搬具(純額)	2,791	2,862
土地	1,220	1,220
その他(純額)	1,472	2,560
有形固定資産合計	7,299	8,608
無形固定資産	222	246
投資その他の資産		
投資有価証券	2,070	2,058
退職給付に係る資産	190	192
その他	99	99
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,359	2,348
固定資産合計	9,881	11,203
資産合計	23,970	26,059

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,406	3,711
短期借入金	2,266	2,993
未払法人税等	207	16
賞与引当金	189	95
その他	2,843	3,315
流動負債合計	8,913	10,131
固定負債		
長期借入金	3,207	4,144
繰延税金負債	123	120
未払役員退職慰労金	9	9
退職給付に係る負債	162	165
その他	8	7
固定負債合計	3,511	4,449
負債合計	12,425	14,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	587	587
利益剰余金	6,249	6,222
自己株式	△69	△69
株主資本合計	8,770	8,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	496	485
繰延ヘッジ損益	△14	△13
為替換算調整勘定	268	195
退職給付に係る調整累計額	△102	△105
その他の包括利益累計額合計	649	562
非支配株主持分	2,126	2,172
純資産合計	11,545	11,478
負債純資産合計	23,970	26,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,305	4,810
売上原価	3,298	3,838
売上総利益	1,007	972
販売費及び一般管理費	543	646
営業利益	464	325
営業外収益		
受取利息及び配当金	17	18
補助金収入	—	44
貸倒引当金戻入額	17	—
その他	4	5
営業外収益合計	38	69
営業外費用		
支払利息	13	15
その他	10	8
営業外費用合計	24	24
経常利益	478	370
税金等調整前四半期純利益	478	370
法人税、住民税及び事業税	78	41
法人税等調整額	55	40
法人税等合計	133	82
四半期純利益	344	288
非支配株主に帰属する四半期純利益	109	116
親会社株主に帰属する四半期純利益	234	171

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	344	288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△77	△11
繰延ヘッジ損益	△4	0
為替換算調整勘定	△185	△143
退職給付に係る調整額	3	△3
その他の包括利益合計	△263	△157
四半期包括利益	80	131
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62	85
非支配株主に係る四半期包括利益	18	46

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	3,791	513	4,305	—	4,305
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	1	△1	—
計	3,791	515	4,307	△1	4,305
セグメント利益	504	25	529	△51	478

(注) 1. セグメント利益の調整額△51百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△61百万円、営業外収益が21百万円、営業外費用が△10百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	鋳物関連事業	その他	計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	4,005	804	4,810	—	4,810
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6	6	△6	—
計	4,005	811	4,817	△6	4,810
セグメント利益	338	45	383	△13	370

(注) 1. セグメント利益の調整額△13百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△73百万円、営業外収益が69百万円、営業外費用が△8百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。